

## 今号の作業

# リヤホイールをチェックする



今号では、リヤホイールを提供する。フロントと同様、このホイールも組み立て済みとなっているが、サイズや形状がフロントとは異なり、よりワイドになっていることがわかる。タイヤを取り付ける前に、各部をチェックしておこう。

### 今号のパーツ

・リヤホイール×1



※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

### 使用する道具

・やわらかい布(ペーパータオルでも代用可)

### あと便利なもの

・瞬間接着剤(低白化タイプ)  
・プラスチックモデル用塗料のうすめ液(ラッカー系)、もしくはマニキュアの除光液

STEP  
1

【右側面】

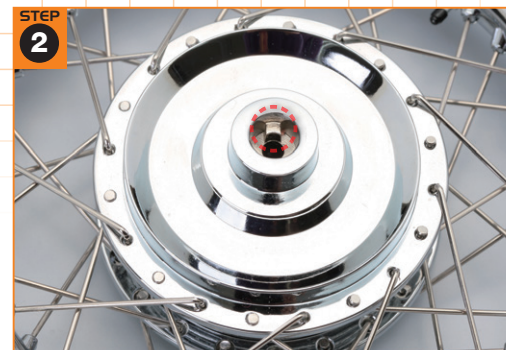


【左側面】



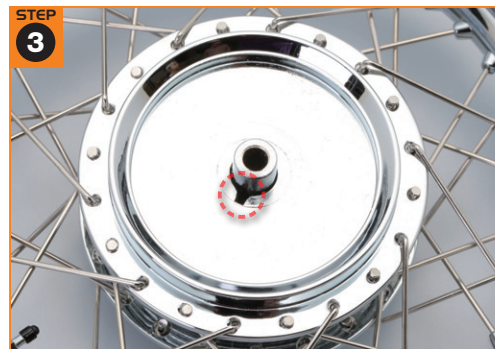
まず、リヤホイールの向きを確認しよう。リヤホイールを立てた時、中央部の側面が張り出している側が左側面、平らに窪んでいる側が右側面になる。  
※写真はモデルの正面から見た向きになっています。

STEP  
2



次に左側面を確認しよう。中央部にある円筒状突起の内側に、小さな四角い突起がある。これは「ファイナルドリブンスプロケット」を取り付けるためのものだ。

STEP  
3



右側面も確認。中心部にある突起の縁に小さな切り欠きがある。この部分に『リヤブレーキパネル』が取り付けられる。



スポークを指でつまみ、取り付け状態を確認する。数本のスポークが少々ガタついても、中心部のハブ部分が固定されていれば問題はない。が、気になるようであれば瞬間接着剤で固定する。



本モデルのパーツを接着する場合は、『低白化タイプ』の瞬間接着剤を使用する。一般的な瞬間接着剤は、接着部分が白く曇る(白化現象)ことがあるからだ。



瞬間接着剤でスポークを固定する場合は、付属のノズルをスポーク取り付け穴へ差し込んで、ごく少量を塗布する。穴の周囲に付着しないよう注意しよう。



スポークのチェックが終わったら、やわらかい布やペーパータオルを使って、付着した指紋や汚れを拭き取る。汚れがひどい時は、プラスチックモデル用塗料のうすめ液(ラッカー系)、もしくはマニキュアの除光液を使って拭き取ろう(2号の組み立てガイド参照)。



クリーニングが終了したホイールは、収納されていたプラスチックパックに入れて保管しよう。汚れの付着や破損を防ぐことができる。

### 今号の完成



これで今回の作業は完了だ。今後、このリヤホイールに各種パーツを取り付けていくので、破損しないよう大切に保管しよう。